

2009年度事業計画書

財団法人 関西盲導犬協会

質の良い盲導犬を育成することにより、視覚障害者の安全で自由な歩行を確保し、その社会参加を促進して、視覚障害者福祉の向上に寄与することを目的に、当協会は寄付行為に則り下記の事業を行う。

1. 15頭育成体制を継続し、視覚障害者のニーズに迅速に対応する。
2. 新公益法人への移行準備を進め、年度内申請を行う。
3. 会員、募金箱、街頭募金など収入基盤を強化する。

I. 管理部門

(1) 総務

① 会員

- a. 会費収入1500万円（募金箱会員を除く）を目標とし、特に法人会員は啓発普及事業と連携し増強を図る。

② 募金箱

- a. 募金箱収入1500万円を目標とし、募金箱の増収を図る。
- b. 従来通り、京都市内とその周辺は直接回収、その他の地域は振込を依頼する。
- c. 啓発普及事業と連携し、新規設置店を開拓する。

③ 街頭募金

- a. 街頭募金を新たに協会事業に位置づけ、クイールの会と協力して推進する。
- b. 募金収入500万円を目標とする。

(2) 経理

- ① 新会計基準への移行及び会計システムの構築をする。
- ② 経費月次報告を行い、経費削減を進める。

(3) 渉外

- ① 会員・募金箱・寄付収入を増やすため、職員藤本を渉外専任者とする。
- ② 総務および啓発普及事業と連携し、行政および各種団体・民間企業などの協力者の開拓を行う。
- ③ 協会支援自動販売機の設置を拡張する。
- ④ 啓発普及事業と連携し、民間企業・各種団体等に情報提供を行い、正しい理解の普及を行う。

(4) 新公益法人対策

- ① 今年度中に申請を行う。
- ② 申請に向け、各種規程類を整備する。
- ③ 規程類の遵守・運用をする。

II. 事業部門

(1) 盲導犬育成事業

①繁殖

- a. 年間15頭の盲導犬を育成するため、パピー55頭体制の繁殖を行う。
- b. フィンランド協会との繁殖協力関係を強化し、凍結精液交換を継続実施する。
(年2回職員派遣、予算190万円)
- c. AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)等を活用し、繁殖ラインの導入を進める。
- d. 繁殖ボランティアとその家族に対して、繁殖犬に関わる事故等に対応した賠償保険を掛ける。

②パピー

- a. 月1回の巡回指導及び訓練センターでの定期指導や講習会を行う。
- b. パピーの健康・衛生管理とパピーウォーカーに対する健康・衛生指導を徹底する。
- c. 全パピーウォーカーに対して、パピーに関わる事故等に対応した賠償保険を掛ける。

③訓練

- a. パピー引き上げ時期を年3回に集約し、訓練の効率化を図る。
- b. 候補犬の適性評価を行い、適性のある犬に対し、盲導犬に必要なとされる作業を訓練する。
- c. 視覚障害者に候補犬の長所が最大限に生かせるようなマッチングを提案する。

④盲導犬

盲導犬が十分なケアのもとに活動ができるような体制を整える。

⑤キャリアチェンジ

キャリアチェンジ犬のボランティア希望者を継続的に募集する。

⑥リタイア

- a. リタイア犬ボランティア希望者継続的に募集。
- b. リタイア犬のための情報の収集と提供を行う。

⑦職員養成

- a. 職員大西を日本ライトハウス白杖歩行指導養成に派遣する。
- b. 犬舎職員および繁殖担当職員に動物看護師3級を取得させる。
- c. 日本盲人社会福祉協議会および全国盲導犬施設連合会等の研修会に職員を派遣する。

(2) 視覚障害者事業

①歩行指導

15ユニットの共同訓練を目標とする。

②視覚障害者支援職員の採用

近畿圏において効果的な事業展開を行うため、フォローアップおよび盲導犬希望者の掘起こしなど、ユーザーおよび視覚障害者の支援を中心に活動する職員1名を新たに採用し、盲導犬15頭を安定的に貸与できる体制を構築する。

- a. ユーザーに対するフォローアップの即時対応
- b. 貸与申込者の即時面接
- c. 近畿圏における盲導犬貸与希望者の掘起こし
- d. 近畿圏における行政および視覚障害リハ団体との連携
- e. 近畿圏における盲導犬および視覚障害の啓発

③フォローアップ

- a. 全ユーザーへの自宅訪問を実施し、現状把握とフォローアップを行う。
- b. 全ユーザーに対して、盲導犬に関わる事故等に対応した賠償保険を掛ける。

④貸与希望者

- a. 新規希望者の開拓に重点を置き、視覚障害者個人及び団体等で体験歩行を実施する。

b. 待機者と定期的にコンタクトを取り、現状把握につとめる。

⑤視覚障害者を対象にした啓発活動

a. 地域での体験歩行会等を企画・実施する。

b. 「ハーネス通信」の点字・テープ・電子データ版を発行を継続する。

c. 福祉事務所等の行政窓口の情報提供など積極的に働きかける。

(3) 相談事業

①相談などに対応する事業のシステム構築を行い、盲導犬ユーザー・貸与希望者・ボランティア・一般等からの苦情や相談を迅速に対応する。

②ユーザーやボランティアに能動的に働きかけ初期対応に取り組む。

(4) 啓発普及事業

①ユーザーを講師とする講演活動を行うため、そのシステムづくりを行う。

②ホームページをより有効に活用してもらうため、内容を見直し、充実を図る。

③「ハーネス通信」の内容充実するため、編集体制を見直す。

④定例見学日・講演等で情報提供を行うと共に、正しい理解の普及に努める。

⑤亀岡市地域交流事業など亀岡市を中心とした啓発普及事業に取り組む。

⑥関係団体および関係施設に対する協力支援を行う。

a. 関西盲導犬協会ユーザーの会(つつじの会)の各種事業に協力する。

b. クイールの会やその他ボランティア組織との連携を図る。

c. 視覚障害関連施設や補助犬育成施設との連携を図る。

d. 全国盲導犬施設連合会との連携を図るため、職員久保を連合会に月1回出向させ、盲導犬情報の編集および連合会が実施する他事業に協力する。

e. 京都府内の視覚障害者施設(京都ライトハウス・京都府視覚障害者協会・視覚障害リハビリテーションネットワークなど)との連携を図る。

f. 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会・国際盲導犬連盟・京都府福祉のまちづくり推進協議会に加盟し、各団体の事業に協力をする。

(5) チャリティ事業

①チャリティーグッズ販売

訓練センター内販売およびホームページ販売に重点を置く。

②美術工芸品

オープンデーなど、イベントでの販売に重点を置く。

Ⅲ. 整備計画

(1) 新犬舎棟の増設とそれにもなう改築(予算2,000万円)

大排便所スペース縮小と入口変更

東パドックのアスファルト整備

会長室・産室・医務室のエアコン計3台買い換え

(2) 二階室内排便所の設置(予算65万円)

(3) 事務室電気容量増設

(4) ハイエースワゴン入れ替え(下取り価格含む予算120万円)

(5) 厨房・1階トイレの改築(約850万円)をJAK(旧日本自転車振興会)に助成申請